

校長室便り

令和2年7月21日(火) No.5
土佐清水市立下ノ加江小学校
校長 宮地 由美
Tel/Fax 0880-84-0031

今学期の登校日数も、残すところ6日となりました。5月に学校再開してから様々な体験を重ね、学んでいる子どもたち。これらの体験が、心を育てること、興味・関心を育てることにつながることを願っています。充実した体験活動を紹介します。

6年 考古学教室

7月6日、高知県立埋蔵文化財センターの方に来ていただき、遺跡について教えていただいたり火起こし体験を行ったりしました。下ノ加江にも、「下ノ加江遺跡」があることを知った子どもたちは驚きの声をあげていました。

6年生は社会科で歴史を学習していきますが、実物も見られ有意義な学習となりました。



鑑賞 日本の伝統芸能「文楽」

7月9日、土佐清水市出身の人形遣い・吉田玉翔さんはじめ5名の皆さんが、文楽の鑑賞を本校で開催してくださいました。「文楽」を初めて見る子どもたち。いざ始めると人形の動きや文楽の世界に引き込まれ、素敵な時間を過ごしました。このような貴重な体験を行う機会をいただいたことに感謝するとともに、日本の伝統芸能のすばらしさを改めて感じる時間でした。



高知みらい科学館 出前授業

7月15日、高知みらい科学館の出前授業を行いました。今回はそれぞれの学年に応じた内容の実施や、ドーム型のプラネタリウムの中では学芸員の方による星の説明を聞くことができたり、サイエンスショーが行われたり盛りだくさんの内容の授業でした。子どもたちは大満足だったのではないかと思います。特に、プラネタリウムではあまりの美しさに「わぁー！！」という声があがりました。科学や天体の不思議さ楽しさを感じる時間でした。



生活安全教室

夏休みを前に、中村警察署清水警察庁舎より2名の方に来ていただき、防犯や、安全な過ごし方等についてお話をいただきました。今年の夏休みは、例年より短くなりますが、お聞きしたことに気をつけ、安全で楽しい夏休みにしましょう。



5年 交流学習

7月17日、幡陽小学校との交流学習を幡多青少年の家で行いました。今年度は宿泊をせず、1日の実施としました。前日までの雨に、シーカヤックが実施できるのか心配していましたが、当日は前日とうって変わってとてもいい天気となり、気持ちよく実施することができました。幡陽小の5年生は3名でしたが、始まるとすぐにうちとけ、名前を呼び合ったり、誘い合ったりする姿が多く見られました。また、挨拶や返事、マナーなども特に指導が必要な場面がなく、子どもたちが自分たちの力で気をつけ合いながら1日を過ごすことができました。5年生の子どもたちの行動力を改めて感じるとともに、全員の子どもの笑顔をうれしく思った一日でした。



子どもたちの見守り、プルタブ回収のご協力をお願いします！

7月20日、第2回下ノ加江の子どもを育てる会を行いました。今回は児童会執行部も参加して児童会の取り組みを報告しました。また、補導センターや警察の方にも参加いただき、委員の皆さんと懇談も行いました。児童会からは、1年生が楽しく過ごせるよう児童会として取り組んでいること、あいさつ運動、行事への参加のお願い、プルタブ回収のご協力へのお願いなどを発表しました。地域で生活する夏休み。地域の皆さん、子どもたちの見守りをよろしくお願いします。委員の皆さん、多数ご参加いただきありがとうございました。今後もよろしくお願いします。



学校訪問

学校の様子、先生方の授業力、子どもたちの授業に向かう姿勢などをみていただく学校訪問がありました。土佐清水市教育委員会や西部教育事務所の皆様